ホームページやSNS、noteで最新情報をチェックしてみませんか?

これまで紙面でお伝えしてきたニュースやイベントは、
いち早く、かつ2ヶ月分を先駆けてお届けできるように、ホームページとSNSをメインに掲載しています。
「特集」や「ほっと岡山レポート」、「こころのオアシス」は、noteにアーカイブを載せて、
いつでもどこでもお読みいただけるようになりました。

＊noteはクリエイターが文章やマンガ、写真、音声を投稿することができ、
ユーザーはそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。

1 早く先まで分かる予定

❶「NEWS&イベント」で主催イベント、その他のイベントが常にアップデートされています。
❷「イベントカレンダー」では2ヶ月分の予定を確認できます。

2 困ったときに頼れるリンク集

お役立ちリンクからは、「放射能リスク」「こころ」「コロナ」「帰還」「子育て」「移住」「原発事故」「健康診断」「お金」「住宅」「仕事」「保養」「調査研究」などのトピックで情報を調べることができます。

3 どこでもいつでも読める「ほっと岡山マガジン」

「特集」、「ほっと岡山レポート」、「こころのオアシス」、など、これまで紙面でご紹介していた記事がnoteで読めるようになりました。ホームページのリンクからもどうぞ。

ホームページやフェイスブック、YouTubeでも『ほっと岡山』の活動などをご覧いただけます。

「ほっと岡山」ホームページ
フェイスブック「hotokayama」
YouTube「ほっとチャンネル」
インスタグラム「hotokayama」

発行：2022年12月31日
発行元：一般社団法人ほっと岡山
〒700-0921 岡山県岡山市北区東古松1-14-24 コーポ錦1F
TEL：070-5670-5676
FAX：086-230-4561

©2022ほっと岡山 All Rights Reserved
禁・無断複写、転載

ほっと岡山
岡山からできる東日本大震災の被災者の支援

2023.1
No.42
1月号
［Take Free］

「ほっとおたよりNEWS」は、
東日本大震災により
岡山県へ避難されている方にむけて
無料配布しています

編集・発行：一般社団法人ほっと岡山
岡山市北区東古松1-14-24コーポ錦1階
電話：070-5670-5676
メール：office.hotokayama@gmail.com

ほっと岡山
岡山からできる東日本大震災の被災者の支援

ほっとおたよりNEWS

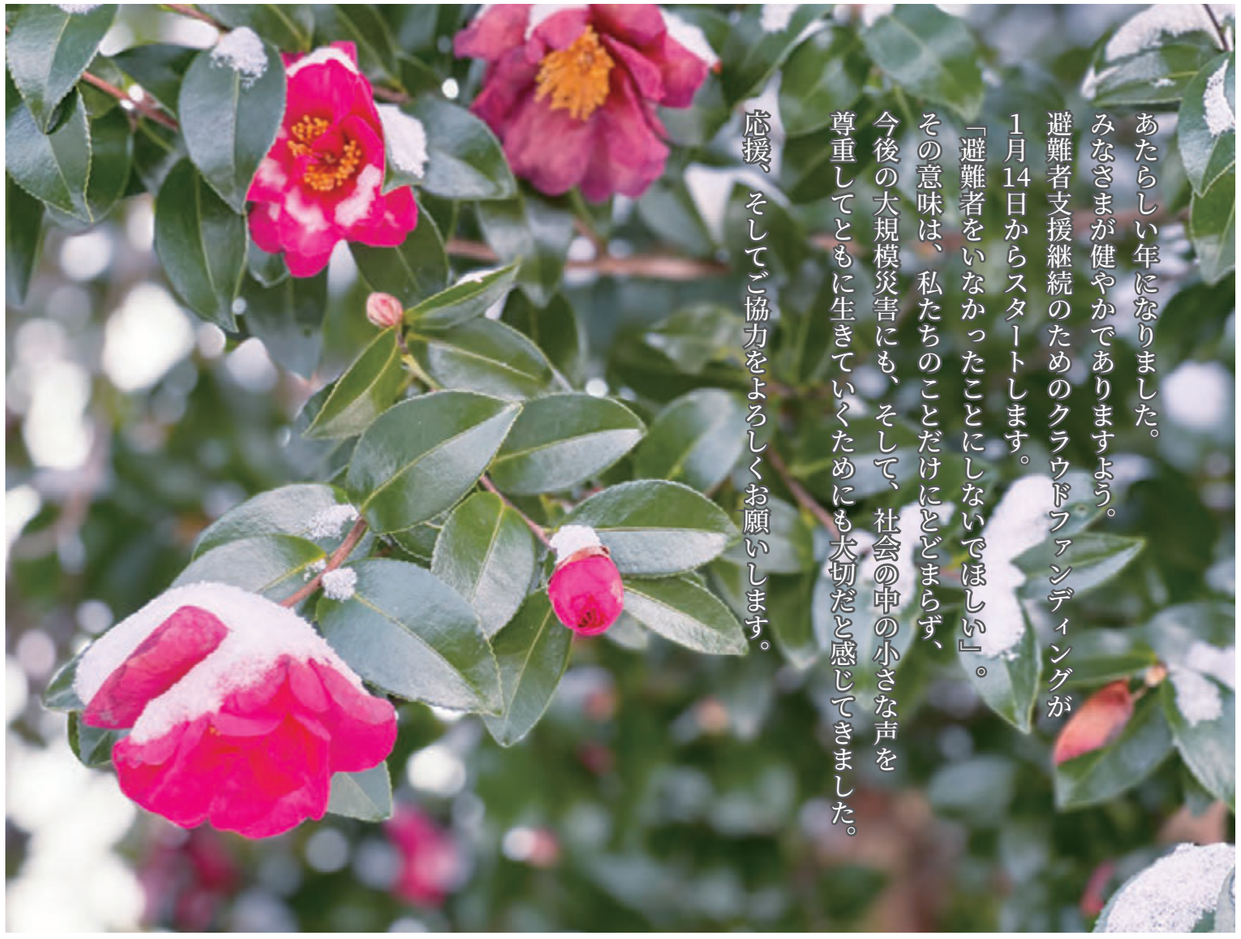
今月のInstagram インスタから

全国の避難者数
［令和４年11月1日復興庁調べ］
約31,000人

岡山県の避難者数 844人

［今月の内容］

イベントカレンダー
「岡山ひなん者の会（仮）」
ホームページ・SNS・noteのお知らせ



あたらしい年になりました。
みなさまが健やかでありますよう。
避難者支援継続のためのクラウドファンディングが
1月14日からスタートします。
「避難者をいなかったことにしないでほしい」。
その意味は、私たちのことだけにとどまらず、
今後の大規模災害にも、そして、社会の中の小さな声を
尊重してともに生きていくためにも大切だと感じてきました。
応援、そしてご協力をよろしくお願いします。

1月 イベントカレンダー

火・木・金・第2土…相談日
●…ほっと岡山主催・共催等
●…他団体イベント、他

相談員…●はっとり
●司法書士（随時）

＊司法書士による法律相談は随時受け付けます。ほっと岡山事務局まで、お気軽にご連絡ください。

1月に行われる予定のイベントとその内容です。皆さまのご参加をお待ちしております。ご質問も遠慮なくどうぞ！

HPはこちら!

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 →年始休業	4	5 ●相談員：はっとり	6 ●相談員：はっとり ●被災者検診岡山協立病院	7 ● ふるさと交流会出発
8 ●ふるさと交流会	9 ●ふるさと交流会帰着	10 ●相談員：はっとり	11 ●食糧支援	12 ●相談員：はっとり	13 ●相談員：はっとり ●被災者検診岡山協立病院	14 ●岡山ひなん者の会 ●クラウドファンディングスタート ●被災者検診水島協同病院
15	16	17 ●相談員：はっとり	18	19 ●相談員：はっとり	20 ●相談員：はっとり ●被災者検診岡山協立病院	21 ●福島の経験を継承する ●みずしま財団「漁業体験ツアー」
22	23	24 ●相談員：はっとり	25 ●食糧支援	26 ●相談員：はっとり	27 ●相談員：はっとり ●被災者検診岡山協立病院	28
29	30	31 ●相談員：はっとり	2/1	2 ●相談員：はっとり	3 ●相談員：はっとり	4

1/14 岡山ひなん者の会（仮）

（土）18:30〜20:30／申込要／場所：ほっと岡山交流スペース・オンライン

1月 食糧支援は随時受付ております。お問い合わせください。

1/21「福島の経験を継承する」

（土）14:30〜16:20／オンライン配信

原子力災害／原発事故も、公害と同じ社会的災害に属します。その経験継承に取り組む方々をお招きし、「困難な過去」を未来につなぐ取り組みをどう進めていくか、公害問題の経験も踏まえて考えたいと思います。

主催：公害資料館連携フォーラム

★パネリスト（50 音順・敬称略）：
内山大介（福島県立博物館）
小野陽洋（いわき語り部の会）
木村紀夫（大熊未来塾）
里見喜生（原子力災害考証館 furusato）
瀬戸真之（東日本大震災・原子力災害伝承館）
筑波匡介（福島県立博物館）
門馬 健（とみおかアーカイブ・ミュージアム）

★コメンテーター：
藤原　遥（福島大学）
林　美帆（公害資料館ネットワーク／みずしま財団）

★司会：　除本理史（公害資料館ネットワーク／大阪公立大学）

https://youtu.be/G1DUiAXp7io

1/21 豊かな海を取り戻そう！漁業体験ツアー

（土）10:00〜12:00（9:45集合）雨天中止／**場所：**浅口市寄三郎島漁港／**定員：**11名（最少催行人員7名）／**内容：**小型底引き網漁船に乗って、瀬戸内海の現状と、私たちの暮らしとの関わりについて学びましょう。豊かな瀬戸内海の恵みをお土産にお持ち帰りいただけます。①寄島漁港から漁船に乗船しての漁業体験・海底ごみ回収体験 ②漁業者との交流、「海底ごみステーション」の見学、振り返り ③漁業体験でとれた魚介類は、お土産としてお持ち帰りいただけます。／**料金：**5,000円／人（保険料込）／**申込：**みずしま財団まで、お申込みフォームか、電話でお申込ください。
TEL：086-440-0121

「岡山ひなん者の会（仮）」集まっています！

次回 1/14（土）より 18:30-20:30

８月からはじまった「岡山ひなん者の会」、現在は第２土曜の夕方から、毎回１０名くらいほっと岡山交流スペースとオンラインで集まっています。始まりは、ほっと岡山の存続が危ぶまれたことから、これからの避難者支援がどんなふうにあったらいいのかを当事者同士で話し合い、何が必要か、そして協力し合えることは何かなど、意見を出し合ってきました。

一時はほっと岡山の活動拠点の縮小・移転も検討しましたが、同じ場所で継続できる見通しが 12 月に見え出してきました。また１月より、クラウドファンディングを予定、細くとも長く、避難者支援が継続できる土台づくりをしていきます。

「岡山ひなん者の会」では、どなたでも参加いただけます。気になる方、詳細を知りたい方、Line グループに入りたい方は、ぜひご参加・ご連絡ください。

新型コロナウイルスに関するイベント開催についてお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大による政府・行政の判断により、イベントをオンライン開催へ変更する場合がございます。変更の場合、既にご予約の方には、ほっと岡山事務局よりご連絡します。参加をご検討の方は、事務局へお問合せいただくかホームページでご確認ください。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

申込み先　ほっと岡山　0120-566-311　Fax：086-230-4561　E-mail：hotokayama@gmail.com

避難者が いなかったことに ならないために。

READYFOR

クラファン、応援ください！

故郷への想いや「避難」の本音…。語りあえる居場所を残し、災害の教訓を次世代へつなぐ。

岡山県には愛知県以西で最も多い、844 名の避難者が暮らしています。発災直後から、岡山県内では避難者受け入れ支援が複数の民間団体で始められ、2013 年頃からは、避難や移住を希望する人たちが、全国の中でも目立って増えていき、「岡山現象」と呼ばれるほどでした。

私たち「ほっと岡山」は、そのような避難者の方々に向けて、生活再建などの支援や、避難者の方たちが安心して語ることができる場や交流会を開くことで、心の回復のサポートを続けていこうと活動してきました。

コロナ禍の影響で生活再建の道のりが困難な方、馴染みのない土地で孤立を深めている方、「地に足がつかない」「311 がずっと続いているよう」といった声が今なお、届いています。しかし、東日本大震災から 12 年を迎えようとしている今、行政による避難者支援事業の運用が急激に変化し、支援活動継続の危機に立たされています。ほっと岡山も例外ではありません。

「ほっと岡山」が遠方から岡山に避難してきた方々にとって、「実家のようだ」「ここに来れば避難のこと、震災のことが安心して話せる」という場として存在してきたのですが、今後も継続してこの場が守られていくか、見込みが立っていない状況です。

避難者の実態調査も行われなくなってきている中、避難者の居場所がなくなれば、その存在自体が「ない」ものとされてしまいかねません。

私たちは、避難者の方がいつでも相談に来れて、心のよりどころとなるような、本音で語りあえる居場所の存続とともに、誰にとっても自分ごとである災害・防災や、避難と支援のあり方の知見を次世代へ伝えていくために、クラウドファンディングを立ち上げることにいたしました。

温かいご支援をどうかよろしくお願いいたします。

クラファンを応援くださる方を大募集しています！ 震災・原発事故をきっかけに岡山県へ来られた方、避難者支援の活動を応援したい方、お力を貸してください！
ご寄付での応援以外でも以下のご協力をいただけたら嬉しいです。お問合せ・ご連絡はほっと岡山までお気軽にどうぞ。
どうぞよろしくお願いします！

❶ 広くお伝えください！

１月〜3 月の間、ほっと岡山 HP や Facebook、インスタグラム、Youtube のクラファン情報を随時発信いただける方を大募集です！

❷ リターンへご協力ください！

50,000 円の寄付者の方を対象に、避難者の方でなりわいとしている商品や作品をご提供くださる方を募集しています！
例：「くまさんの森」高木さんよりメロンのご提供

❸ 応援メッセージをお寄せください！

READYFOR のサイトに、クラファンのページを設けます。そちらのブログに応援メッセージを募集しています！

❹ クラファン応援隊も大募集！

週に１回程度、ほっと岡山に集まってミーティングや作業を予定しています（オンライン有）小さなことからご一緒に、クラファン達成を目指す仲間を募集です！よろしくお願いします！